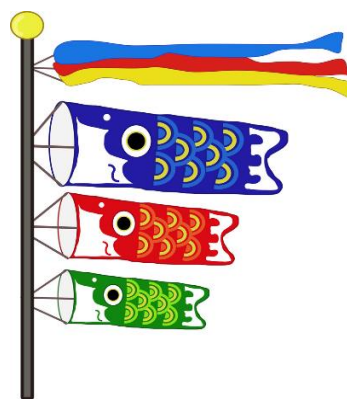




## 学校教育実習Ⅵがスタート！

5月に入り、学校教育実習Ⅵが始まりました。学校教育実習Ⅵは、4回生を対象とした教育実習です。期間は1週間ですが、いろいろな授業を観察したり、自主立案した授業を行ったりします。附属幼稚園・小学校・中学校で行われた学校教育実習Ⅵは、これから教師を志す4回生にとって、現場での授業実践を積むことができる有意義な時間となったことでしょう。

さて、5月22日（月）からは、附属中学校、幼稚園、小学校と順に学校教育実習Ⅲが始まります。学校教育実習Ⅲは3回生を対象とし、授業観察・子ども理解を中心に一週間の日程で行われます。秋の学校教育実習Ⅳへつながる実習にするためにも、配属される学級の先生方から一つでも多くのことを学び、今後の自分自身の糧にしてほしいです。



## 4月の主な基礎体験学修

島根大学教育学部でしか体験できない1000時間体験学修が今年度もスタートしました。学生たちは積極的に様々な活動に参加しています。参加した学生がそれぞれの活動を経て、どのような学びを得ているのかを読んでいただき、有意義な学びの場がそこにあることを確認してもらえると幸いです。

### ☆春休みわくわくキャンプ（松江市宍道ふるさと森林公園）に参加して…

今回は、子どもの学びを最大限にしていけるように、注意や指摘の声かけを最小限にとどめていくという目標を心に刻んで臨みました。子どもにちゃんと指示が通る程度の声かけで、子どもが自分たちで考えられる点を残しながら指示するというのはとても難しかったです。言って行動させるのは簡単です。言わなくても、自分でできるようにすることこそ、必要な教師の資質だと思いました。

### ☆さんべボランティアのススメ【①企画編】（国立三瓶青少年交流の家）に参加して…

企画するということはとても難しいことだという考えを自分の中で持っていました。そのため、難しく考えてしまっていて、柔軟な考えがあまり持てなかったかなと感じます。次は、もっと楽しいことを考えていこうという気持ちを持って取り組もうと思いました。また、あまり積極的に案を出すことができなかったので、もっと自分の意見をしっかり持っていかなければと思いました。本番編で参加する人が楽しく活動できるように臨機応変に対応していこうと思います。

### ☆さくらおろち湖トレイルランニングレース（島根県雲南市三刀屋町）に参加して…

今回参加した活動では、運営補助スタッフとして運営者側をサポートする形であったが、将来このようなスタッフをやることもあるかもしれないので、いい経験になった。久しぶりの1000時間体験であったので、少し受動的に動いてしまったので、もう少し積極的に仕事を見つけたり、コミュニケーションをとったりしていたらよかったと反省している。

### ☆春のフェスティバル～行く行くサンレイク！～（島根県立青少年の家）に参加して…

今回の活動では、職員の方と来場者の関わりの中から学ぶことが多くありました。来場者が間違った方法で活動していたり、もっと上手に成功させる方法を伝えたりする際に、職員の方ははっきりと伝えておられました。私は、言いづらくて戸惑ったことが何度かありましたが、来場者の方々に、よりよい活動をしてもらうためには必要なことであると学びました。来場者の方が笑顔で帰られる姿を見て、達成感を感じました。これからの活動でも自分なりの課題を見つけて改善していき、自分の力を高めていきたいと思います。

### ☆宍道湖一周駅伝大会補助（島根県松江市）に参加して…

主にコースの交通整理と選手のコース誘導を行った。交通規制を全面に行った大会ではなかったので、車の通行が多い中での活動となった。警察の方と連携をしっかりと取りながらできたので、スムーズに選手を誘導することができたと思う。宍道湖を一周するコースだったので、最初通り過ぎた時には規制解除の際にコースの撤去に時間がかかったが、2回目は、そのことを踏まえて行動できたので良かった。大会全体としても、スムーズに運営ができていたので良かったと思う。

### ☆船上山さくら祭り（鳥取県立船上山少年自然の家）に参加して…

活動内容を理解し、準備段階から積極的に活動に関わることができた。他施設での経験をいかし、来場者に様々な場面での声かけや支援ができた。幅広い年齢の方が来られたので、それぞれの方々へ適切な声かけや関わり方を考えることができた。来場者が、今回の事業を楽しめるようにすることを念頭に置きつつ、安全管理にも努めることができた。これまでの活動を生かすことができた。

### ☆大山青年の家春の親子フェスティバル（鳥取県立大山青年の家）に参加して…

イベントに遊びに来てくれた子どもたちと積極的にコミュニケーションをとることができた。私が話しかけたことで笑顔になった子どもがいた反面、そうでもない子どももいたので、関わり方やタイミングを考える必要があると思った。レクの際、子どもの発達段階に合ったものができなかったように思ったので、どの発達段階にはどんなレクが向くのか学びたい。また、保護者の方と関わりることが多く、どのような話し方やふるまい方をすべきか考えるよい機会になった。社会教育施設での体験でしか得られない力があるので、今後もこのような活動に参加して、自分の力を伸ばしていきたい。

